

2019 年度事業報告書

認定特定非営利活動法人こむの事業所

1 事業の成果

2019 年度は、2015 年度から 4 年間続いていた赤字決算を脱却し黒字化を実現した。年度末には新型コロナウイルスの感染の影響から、駐車場、レストラン、市場の売り上げの大幅減少に見舞われ、存続の危機に立たされているが、それを乗り越えてさらなる発展をとげるための礎は築かれている。

また当該年度においては、新たな製品開発による事業の拡充により、障害者スタッフの雇用や就業時間の増加を果たすとともに、社会と繋がりにくい若者の就業の場についても、宝塚フィナンシエの製造や新たなマンション清掃業務などにより職業能力の開発につながった。

一方住居支援においては、自立生活を目指した利用が引き続き進むとともに、深刻な家庭内暴力からの一時的シェルターとしての利用も多く、生命や身体の危機から身を護るための役割を果たしている。

(1) 障害者スタッフの一般就労

① 就労者への継続的支援

一般就労を果たした人たちへの、電話や面談による支援を継続的に実施するとともに、一部雇用事業所への助言等を行い、就労後の安定をサポートしてきたことなどもあり、すでに 2 名がパート雇用から正規雇用への任用を実現している。

② 一般就労へのチャレンジ

施設外支援の制度を活用しながら、兵庫県への就労を目指して取り組んだが結果を出すに至らなかった。

(2) ビル管理事業

① 宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター等公共施設清掃の受託

通常清掃については、業務遂行スキルが格段に進んだことから作業効率が大幅に高まった。一方窓ふき等高所作業の安全管理について、民間助成金を活用して装備を充実させ、作業の安全性を高めることができた。

② 駐車場管理

スタッフも業務に習熟し、自律的に業務が遂行される状況になってきたことから、勤務時間を延ば

すことや新たな業務へのステップアップを検討する必要がある。

(3) 食事サービス事業

① レストラン「こむず」の営業と障害者スタッフの定着

シェアキッチン開業の影響もあり、2018年度に比較して売り上げが減少する結果となった。その一方で厨房においては、有限会社クルーズとの連携により、一流パティシエの指導を受けて「宝塚フィナンシエ」の製造にも取り組む中で、厨房業務における障害者スタッフの定着と業務拡大にも力を尽くした結果3名がチームとして従事することができている。

② 給食受託及び配食事業

ぷらざこむ2の建て替え整備にともない、めふプラザの仮設運営が検討されており、給食調理についても今後の動向しだいで影響を被る可能性がある。

宝塚育成事業所の給食調理業務については、2018年度に引き続きクックサーブ方式による実績を重ねてきたことから、同方式により事業を拡大し、障害者スタッフの職域の拡大を図ることとしている。

デイサービススイッチオン、育成事業所、いまい内科クリニックへの配食食数は、1日100食程度となり事業の柱になっている。

(4) こむの市場事業

① 生鮮野菜・加工食品の販売

2019年度は2018年度に比して売り上げが減少する結果となっている。その原因としてはレストランこむずの来客の減少による影響が考えられるとともに、経年に伴う商品の魅力の減少が考えられることから、新たな商品開発の努力が求められている。

一方で、新たにレジ専門の障害者スタッフ従事が実現するなど、職域拡大を図ることができた。

② 募金百貨店の取り組み

こむの市場で販売する売り上げの一部を募金として供出する募金百貨店（兵庫県・宝塚市共同募金会主催）に参加したことにより、特に社会福祉活動関係者への事業の理解が進むとともに、売り上げの増進につながった。

(5) システム開発事業

② システム開発

現在 1 名の障害者スタッフが従事しているシステム開発について、シェアキッチンオーダーシステム開発や関西学院大学の実習支援システムのカスタマイズに実績をあげている。

(6) その他

① 住居利用

2019 年度は、自立生活を目指した利用があったほかひっ迫した緊急度の高いシェルターとしての利用が例年になく増えており、転出後の安定した生活を確保するまでの緊急避難の中間施設としての大きな役割をはたすことができている。

年間の利用実績は、24 件 534 日となっている。

② アトリエの利用

現在アトリエについては、システム開発及びエビス面描き作業場のほか就業後の障害者スタッフ休憩と帰宅待機の間として活用している。

③ 研修室、教室の利用

1 階研修室、2 階教室については、食事サービスの利用につなげるために昼食若しくは喫茶の利用を条件にグループ貸出しを行っており、利用が増加している。

④ 障害者就労・生活支援センター事務所貸付

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2019 年度は 11,022 件の面談による相談を実施し、75 人が就職した。

⑤ 成年後見センター事務所貸付

NPO 法人宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2019 年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など 1,691 件の支援サービスを行ったほか 13 人の法人後見を行った。

2 事業実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	ビル管理事業	通年	宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター、こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-8、9 宝塚市立健康センター 宝塚市小浜 4丁目 4-1 宝塚市立口腔保健センター 宝塚市小浜 2丁目 1-30 福祉コミュニティプラザ駐車場 宝塚市売布東の町 9 番地内	20 人	障害者 13 人 就労要支援 4 人	20,709
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	食事サービス事業	通年	宝塚育成事業所内厨房 宝塚市安倉西 4-1-7 こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	12 人	障害者 6 人 就労要支援 1 人	30,780
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	こむの市場事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	2 人	障害者 2 人	16,178
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	システム開発事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	障害者 1 人	1,504
障害者等の地域移行及び一時的に住まいの困難を抱える人への住居支援に関する事業	住居支援事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	1 人	24 件	32